

ペットボトルのキャップを集めて、世界の子どもたちにワクチンを届けよう!

鶴見区社会福祉協議会では、 ペットボトルキャップ回収運動を推進しています

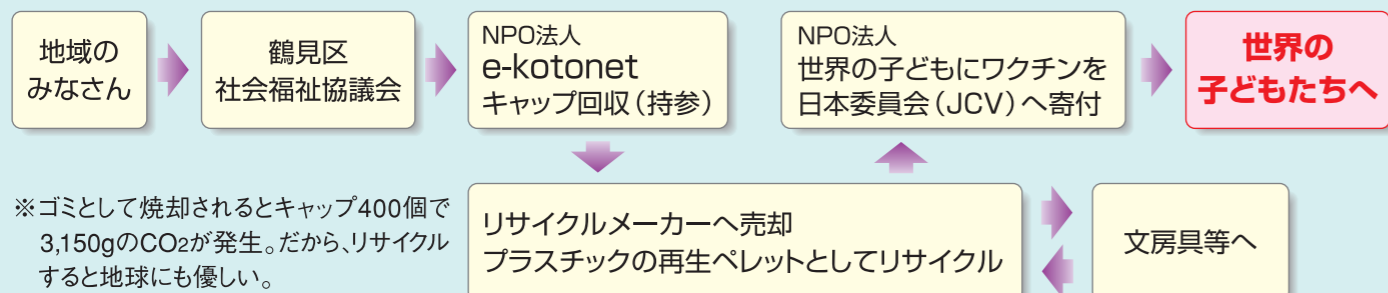
世界では、ワクチンの不足が原因で毎年多くの子どもたちが命を落としています。ワクチンさえあれば、これらの子どもたちの多くは命を落とさずにすむのです。

ペットボトルのキャップを一般のごみに混ぜて捨ててしまうと、焼却処分となりCO₂が発生し、地球温暖化の原因にもなっています。ペットボトルのキャップをリサイクルすることで、地球環境に優しく、さらにポリオワクチンとして世界の子ども

たちに贈られる社会貢献の一環にもなります。

また、回収されたペットボトルのキャップはプラスチックの再生ペレットとしてリサイクルされ、高品質な樹脂原料として出荷され、文房具等の新たな製品として生まれ変わります。

たった一つのキャップからでも構いません。世界の子どもたちと美しい地球のために「ペットボトルキャップ回収運動」にご協力ください。



※ゴミとして焼却されるとキャップ400個で3,150gのCO₂が発生。だから、リサイクルすると地球にも優しい。

たった一つのキャップからでも構いません。
地球と世界の子どもたちのために、「ペットボトルキャップ回収運動」を始めましょう!

あなたの行動が世界の子どもと地球の未来を創ります!

小さなキャップでも、分ければ資源!

●リサイクルして価値ある材料に

ペットボトルのキャップをみんなで集めよう!

●キャップは400個で10円になります。

ポリオワクチンは一人分20円!

●キャップ800個で一人の子どもの命が救えます。

回収方法

まず、一個集めることから始めてください。ある程度まとまったら、鶴見区社会福祉協議会までお持ちください。

清涼飲料水ペットボトルのキャップを対象としています。材質はPP(ポリプロピレン)です。ケチャップやソースなどのフタにも使用されています。大きさなどの制限はありません。

これらを集められる場合は、食品が付着していると異臭が発生することもありますので、**簡単に洗浄してください**。紙のシール(値札など)や金属の蓋は必ず取り除いてください。

つるみ区子育てマップ (平成21年改訂)が発行されました

赤バスの路線や、保育所・保育園、幼稚園など子育てに関する情報が新しくなりました。ぜひ、ご活用ください。

以下のところに置いています

- 鶴見区社会福祉協議会
- 鶴見子育て支援センター
- 鶴見区保健福祉センター
- 鶴見区子ども・子育てプラザ
- 鶴見図書館



認知症サポーター養成講座

地域の集まり(老人会・女性会など)・各種サークル・区内の企業・学校などにお伺いし「認知症の理解」と予防についてわかり易い講座を開催しています。関心のある方は気軽にご連絡ください。

お問い合わせは、鶴見区社会福祉協議会
☎06-6913-7512 ●担当/稲川・米加田・竹村・多田



地域包括支援センターだより

地域包括支援センターでは、高齢者やそのご家族からの介護、福祉などに関するご相談をお受けしています。

高齢者の方が、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう支援をします。

たとえば

- * ご近所に気になる高齢者がいる
- * 介護保険のサービスについて知りたい
- * 物忘れがあり心配
- * 虐待の疑いがある高齢者がいる
- * 悪質な訪問販売で高額な商品を契約してしまった
- * 介護予防のために運動や外出をしたい



地域包括支援センターのスタッフを紹介します

保健師または経験のある看護師、主任介護支援専門員、社会福祉士の3つの専門職等がチームで、業務に従事しています。

どうぞよろしくお願いいたします。

この笑顔でがんばります



地域生活支援事業

地域生活支援ワーカーは、ご本人やご家族、地域からのご相談をお聞きしながら、今後の生活を一緒に考えていきます。

また、鶴見区内にお住まいで、金銭管理に不安がある方が、「あんしんさぽーと」の契約をされた後、金銭管理サービスのお手伝いをします。

その他「介護家族リフレッシュ事業」の開催や「鶴見区介護家族の会」のお手伝いもさせていただきます。



お知らせ 鶴見区在宅デイサービスセンター

鶴見区在宅デイサービスセンターでは在宅高齢者の要介護者に送迎、入浴、お食事、レクリエーション、日常生活についての相談・助言などを行なっています。

当センターでは、家庭的な雰囲気を利用者様が過ごしやすい環境をモットーに楽しいひとときを提供いたします。



写真は利用者様と一緒に作った作品です